

– News Release –

2022年6月1日

SRSホールディングス株式会社



食品ロス削減の取り組み 企業、業種の垣根を超えて拡大

– 環境省の「mottECO(モッテコ)導入モデル事業」に採択 –

SRSホールディングス株式会社(大阪府大阪市)は、株式会社セブン&アイ・フードシステムズ(東京都千代田区)、ロイヤルホールディングス株式会社(福岡県福岡市)、日本ホテル株式会社(東京都豊島区)と共同で、環境省「令和4年度 地方公共団体及び事業者等による食品廃棄ゼロエリア創出の推進モデル事業等」に応募し、2022年5月31日(火)、「mottECO 導入モデル事業」として採択されました。

今回採択されたのは、「パートナーシップによる mottECO 導入事業者拡大とツール普及スキームの構築、及び、業界、自治体、教育機関と連携した啓発活動による mottECO 普及促進」事業で、「食品ロス削減」という大きな社会課題に対し、事業者が mottECO 導入と拡大を通じ、競合関係を超えたパートナーシップで取り組み、その解決を図るもので、次の4つを柱として実施します。

1つ目に、業種業態を超えたアライアンスによる mottECO 実践店舗の拡大。2つ目に、食べ残し持ち帰り用容器等、ツールの共同調達スキーム構築と有償化の検討。3つ目に、食品ロス削減と脱プラスチック両立のため、持続可能性が担保された紙素材の mottECO 容器実用実験と、宅配やテイクアウト容器へのその応用研究。4つ目に、mottECO 推進事業者ならではの、実践経験とデータに基づいた啓発活動の実施、です。

具体的には、4社が運営する各店舗で、お客様が食べ切れない料理のお持ち帰りをご希望された場合、共通の専用容器をお渡しし、ご自身の責任においてお持ち帰りいただくことで、「食べ残したものは自分の責任で持って帰る文化」の普及と啓発を図るものです。

本事業についての実施期間は2022年5月31日(火)～2023年2月28日(火)までとなります。

SRSホールディングス株式会社では、運営する和食さとにおいて、食品廃棄量の削減に向け、2006年より様々な施策に取り組み、店舗から発生する食品廃棄物量をこれまで30%以上削減するとともに、お客様と一緒に取り組む「食べ切りキャンペーン」や少量メニューの開発などにも取り組んできましたが、それでも発生する食べ残しの削減に向けて、より事業者側の意識と消費者行動の変化を促すため、環境省が推進する「自己責任による食べ残し持ち帰り = mottECO (モッテコ)」に参加し、食品廃棄物の更なる削減に取り組むことといたしました。

◇mottECO 専用の容器(持続可能性を担保した紙でできています)



◇企業別実施ブランド

企業名	ブランド名
SRS ホールディングス株式会社	和食さと(運営:サトフードサービス株式会社) ※準備が整い次第開始予定 ※食べ放題は持ち帰りの対象外です
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	デニーズ(都内全店:順次拡大予定)
ロイヤルホールディングス株式会社	ロイヤルホスト(運営:ロイヤルフードサービス株式会社) ※実施店舗・地域は調整中
日本ホテル株式会社	東京ステーションホテル メヅム東京、オートグラフ コレクション メトロポリタンホテルズ(7 ホテル)

「mottECO(モッテコ)」とは

環境省で、利用者とお店の相互理解のもとで、飲食店等における食べ残しの持ち帰りをより身近な文化として広めることを目的として開催した「NEW ドギーバッグアイデアコンテスト」で大賞に輝いたネーミングです。

今回作成された「mottECO(モッテコ)」のロゴは、食べ残しを持ち帰ると、美味しく笑顔、無駄がなくて笑顔、自分もエコに貢献できたことに笑顔、と、人々が笑顔になることを表現したデザインとなっています。

環境省 Web サイト参照

<http://www.env.go.jp/press/108796.html>

【お問い合わせ先】

SRS ホールディングス株式会社 経営企画部

Tel: 06-7709-9977 E-Mail: 873@sato-rs.jp